



白い布に光を当て、集まった虫を観察する子どもたち＝千種区の平和公園で

「光」に集まる虫に歓声

名古屋の環境について考えてもらおうと、屋外に白い布を張り、青色の蛍光灯の光を目掛けて飛んでくる虫を採る灯火採集が二十五日夜、千種区の平和公園など市内五カ所で行われた。

名古屋の棲（せい）息生物調査実行委員会と名古屋環境大学の共催で、虫の生息状況から自然環境について考えてもらうのが狙い。五カ所合わせて約百二十人が参加した。

平和公園では、虫かごを持っ

千種などで灯火採集

た小、中学生ら約七十人が集まった。辺りが暗くなり始めたころから、バッタやスズメバチ、カブトムシ、ガなど約百七十種類にも及ぶ虫が次々に飛んできた。子どもたちは歓声を上げながら、虫を採集していた。

実行委員会は、来年二月に報告会を開く予定。灯火採集は九月二十二日にも行われる。問い合わせは同実行委員会会長の滝川正子さんへ電話（781）2595へ。（宮川まどか）